

明日の臨床につなぐ オクルージョン・欠損補綴・ インプラントセミナー

※永田先生による本セミナーの開講は今回が最後です。是非、お見逃しなく。

このセミナーの狙いは、オクルージョンの基礎知識を理解し、臨床での半調節性咬合器の応用について実際に手を動かしてハンドリングを学習します。さらに、欠損補綴では、テレスコープやアタッチメント、インプラントといった各種補綴手法の製作ステップやそれにつながるハウツウを学び、実習により習得したものをすぐに臨床に活かすセミナーにしたいと考えています。様々な病態から捉え方が難しい欠損歯列にどのようにアプローチするか、補綴臨床を手助けするための少人数制コースです。



講師 永田省藏先生
日本補綴歯科学会指導医

東京コース 15期

前期：2023年4月8日(土)ー9日(日)

後期：2023年5月6日(土)ー7日(日)

会場 KaVo 東京セミナールーム

〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー15F
※状況により会場が弊社セミナールームから近隣の他会場へ変更となる可能性があります。

定員 12名

時間 土曜日10:00~19:00 / 日曜日9:00~16:00

受講料 ¥176,000 (前後期・消費税込)
¥188,000 (前後期・懇親会会費・消費税込)

再受講料 ¥33,000 (前後期・消費税込)
¥45,000 (前後期・懇親会会費・消費税込)

※前期・後期の1日目終了後、永田先生を囲んで懇親会を実施いたします。参加をご希望の方は、受講料と会費1回当たり6,000円を併せてお振込みください。懇親会をキャンセルされる場合は、懇親会当日の1週間前までにご連絡ください。会費を返金申し上げます。懇親会は状況により中止になる可能性があります。

セミナー内容

前期：咬合と歯冠補綴

- 1日目
- なぜ、咬合学を学ぶことが必要なのか?
 - 咬合に関する基礎知識～咬合学の変換と現在の位置づけ
 - 下顎位の捉え方と咬合採得の実際
アンテリアジグによる下顎位の記録と診断
- 〔実習〕 アンテリアジグの製作
術者による下顎誘導法 / セントリックバイトのとり方

- 2日目
- 咬合器についての知識と意義
 - 顎関節の運動と咬合器の調節機構
 - フェイスボウランスファー / 下顎運動と咬合器
 - 下顎運動とガイドの捉え方
- 〔実習〕 KaVoEWL咬合器のセッティングとハンドリング
チェックバイトの採得、咬合器の調節要素の設定

後期：欠損補綴とインプラント

- 1日目
- 欠損歯列の病態診断、リジットサポートの考え方
 - 各種維持装置の特徴と補綴設計
 - 欠損補綴処置の実際とその臨床ステップ1
- 〔デモ〕 GoA描記法ー描記装置の製作
AGCテレスコープの設計と製作ステップ

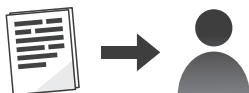
- 2日目
- 欠損歯列とインプラント
 - インプラント補綴と上部構造～咬合接触と補綴設計
 - インプラント支台のパーシャルデンチャー
 - 種々の欠損歯列についての診断と設計検討会

1. お申込み方法

右記のQRより、ご参加
申込書にご入力の上、
お申込みください。



2. 10営業日以内にお申込確認内容のご案内をメールいたします。



3. 2の確認メール到着後、1週間以内に受講料をお振込みください。ご入金を持ちまして正式なお申込となります。



※お申込みはセミナー開催日の5営業日前までをお願いいたします。(セミナーが土曜の場合、その週の月曜までにお申込みください。弊社休業日は土日祝日となります)

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、定員に満たない場合でも、締め切りとさせていただきます。

※各金融機関発行の申込み細票が正規領収書としてご利用いただけますので、こちらを領収書とさせていただきます。

※キャンセルポリシー ご入金後のキャンセルにつきましては、開催日より7営業日(土・日・祝除く)前の16時までにE-mail (DEN-KAVO-Japan-seminar@kavo.com)宛にご連絡ください。これ以降のキャンセルにつきましては、100%をキャンセル料として申し受けます。なお、別開催日への変更はいたしかねます。何卒ご了承ください。詳しくはお申込み後、詳細案内をお送りいたしますのでそちらをご覧ください。